

給振口座を「ろうきん」にすると、コンビニでの現金引出手数料が0円になります。



# 泉北教育

NO.2172 2020.5.18  
発行 泉北教職員組合  
〒594-0071 和泉市府中町6-12-2  
0725-41-1953 Fax0725-44-6570  
E-mail senboku@gf6.so-net.ne.jp

## 職場要求アンケートに協力下さい 力合わせて要求の実現を

泉北教組は、各市町教育委員会に対し、次年度予算編成に向けての要求書を夏に提出し、2学期に交渉を行う予定です。泉北教組の要求書は、「職場要求アンケート」を元に作りまします。今回は新型コロナウイルスによる、長期にわたる休校措置により、教職員はこれまでにない働き方を余儀なくされています。そこで「職場要求アンケート」も、例年のものから形式を一部変更し、この3月から5月にかけての働き方や学校の状況を中心にお聞きしています。ぜひ、率直なご意見をお寄せください。

### 新たに求めたい 保健室の整備や 学習内容の精選

アンケートには、「あなたは、国や府や市・町の教育委員会に、何を強く望みますか？」との項目があります。今回は、その回答の選択肢に「保健室の整備」「学習内容の大幅な精選」を追加しました。登校日のコロナ対策として「1教室の人数は10〜15人程度とする」というガイドラインが示されましたが、体調の悪い児童・生徒が保健室を利用するときの対応は現場任せになっていきます。児童・生徒

や養護教諭の感染リスクを抑えるために、保健室の設備や条件の整備は急務です。

また、今回の休校は、新学習指導要領が小学校で完全実施される時期に重なった形です。そもそも子どもたちに大きな負担を強いるとして批判されてきた新学習指導要領の内容を、休校後の短期間ですべて指導することは困難です。ただでさえストレスが溜まっている子どもたちを追い詰めるために、学習内容を大幅に見直すことが必要です。これらの項目以外にも、今必要な要求は、直接教育委員会に伝えましょう。

### 日頃から 困っていることは ありませんか？

職場でのハラスメントや、学校の施設・設備についての項目は例年通りとなっていています。職場での困ったことや悩み、必要な設備や修繕等あれば声を上げ、よりよい勤務条件・職場環境をつくっていきましょう。

### 過年度のアンケートに 寄せられた声

管理職の言動に不満がある。病休等とられる先生への対応やその学年への配慮がない。働く環境が劣悪です。労働安全委員会を作ってください。床板のきしみがひどく、テスト中巡視ができない。



## いまだかつてない事態にはいまだかつてないとりくみを

大阪教育文化センターは、新型コロナウイルスによる長期休校にかかわって、4月27日に提言「子どもたちにとって大事なことを絞り込んで、教育内容の大胆な削減を」を発表しました。また、休校中の登校日について、5月13日に追加提言「登校日と学習課題」も発表しました。子どもたちを学校が、先生がどう受け止めていくか示唆にとんだ内容となっており、反響をよんでいます。大阪教育文化センターのホームページから簡単に閲覧できます。ぜひ、読んでみてください。

### 提言より（一部抜粋）

子どもにとって何が必要か  
今回のような、いまだかつて経験したことの無い事態に対して求められる教育活動は、従来の枠組みにとらわれていては、対応できません。従来の枠組みを超えた「いまだかつてないとりくみ」が必要です。その際、もっとも大事なことは、子どもにとって何が必要かであり、そのことを中心に据えてとりくむことが何としてももとめられると考えます。

そのためには、新学習指導要領にとらわれるのではなく、子どものための教育課程づくりこそ重要です。（中略）学習指導要領に子どもを合わせるのではなく、子どものための教育をどうつくりあげるかが大切にされなければなりません。

「よく来たね」と子どもを丸ごと受け止めたい  
こんな状況だからこそ、「よく学校へ来たね」という思いを全面に、子どもを丸ごと受け止めたい。ともすれば、大幅に削減された授業時数のもとで、早く授業を始めなければという気持ちに駆り立てられるのは無理のないことですが、ちょっと立ち止まって、こんな時だからこそ、焦らずあわてずに、教室が子どもたちの居場所となるよう、心を砕いてみましょう。そして、子どもたちどうしのあたたかい関係を気付けるよう、子どもたちの心と心をつなぐことを大切にしたいですね。



子どもと学校を追い詰める「新学習指導要領」は抜本的見直し。「チャレンジテスト」は廃止。